

# 林水連携で 養殖漁業復活へ

— 養殖イカダ用丸太の供給 —



## ■丸太で作る養殖イカダの利点

### ◎材料は地産地消

木材資源の有効活用により、適切な森林整備が促進されます。

### ◎環境にやさしい

木は再生可能で自然に帰り、海を汚しません。

### ◎規格は自由自在

組み方により、イカダの大きさが自由に変えられます。

### ◎すべりにくい

皮付丸太ですから、すべりにくい素材です。

## ■販売できる丸太の規格

| 樹種 | 長級     | 径級    |        | 備考  |
|----|--------|-------|--------|-----|
|    |        | (末口)  | (元口)   |     |
| スギ | 4.00m  | 8cm程度 | 14cm程度 | 皮付き |
| スギ | 10.00m | 8cm程度 | 15cm程度 | 皮付き |

※上記以外の規格は相談に応じます。



山で生産された養殖イカダ用丸太（スギ 10 m）  
【岩手県森林組合連合会提供】

岩手県内の漁業復興に向けて林業と水産業が連携した取組が始まっています。

今般の震災では、カキやホタテの養殖イカダが壊滅的被害を受けており、同県内に約26、500台あったイカダのほとんどがなくなりました。

岩手県森林組合連合会は、東北森林管理局、(独)森林総合研究所森林農地整備センター、盛岡水源林整備事務所、岩手県林業振興課の林業関係機関及び岩手県漁業協同組合連合会と協力して、イカダ用丸太の販売を行います。販売する丸太は、長さ4mと10mのズギで皮がついたもの。県

漁連が県内の漁協から注文を募り、それに応じて県森連を通じ、国有林や民有林から丸太を生産・選別して供給します。

イカダ1台をつくるのに20本〜30本程度の丸太が必要になります。6月22日、陸前高田市小友町の瀬沢漁港で震災後最初となるイカダの組み立てが行われました。

この取組をきっかけに養殖漁業の再開が円滑に行われ、震災復興に弾みがつくばかりでなく、間伐材等森林資源の利用が進み県内の森林整備にもつながることが期待されます。



養殖イカダの組み立て